



ネットでも販売

商品は丸みがある「namima (なみま)」と小ぶりの「nagisa (なぎさ)」がある。ネックレスやピアス、イヤリングをそろえている(価格は8800円〜1万1千円)。小高パイオニアヴィレッジ内にあるイリゼやネットで取り扱う。問い合わせはイリゼ(電話0244・26・4665)へ。

三陸翡翠あわびを使って作られたアクセサリー

南相馬市のアクセサリーメーカーが、岩手県大船渡市で2月に発生した山林火災で被害を受けたアワビの貝殻を使ったアクセサリ作りに取り組んでいる。東日本大震災と山林火災の二重被災に苦しむ養殖会社の力になろうと協力した。養

中田さんは二

業から聞き、アソビの活用について提案を受けた。震災と東京電力福島第一原発事故の影響を受けた南相馬市小高区で事を展開するだけに、災害の思いは強く、協力することにした。山火を乗り越えた私たちが、古川さん、中田さんは二度の被災で大変な思いをされた

北日本水産が被災するのは、今回が初めてではない。震災で巨大な津波に襲われ、養殖施設が全壊。時間

2月の山林火災で250万個全滅

南相馬の会社、復興後押し

カットしてガラスなどでそのまま包み込み、アクセサリーとしてよみがえらせた。表面を波打たせたり、光を取り込ませたりして、恵み豊かな三陸のリアス海岸や浜辺を表現している。



美しく輝く三陸翡翠あわび
(北日本水産提供)

大船渡のアワビ
アクセサリーに

殖会社の復興へ背中を押していきたい」。担当者は言葉に思いを込める。

らみたい。南相馬市小高区でアクセサリブランド「イリセ」を展開するOWBのプロジェクトマネージャー中田朱音さん(27)は感嘆の声を上げる。美しく輝くアワビの貝殻。大船渡市の養殖会社「元正栄」北日本水産」から提供を受けたものだ。

南相馬の

▲ 5月15日 福島民友新聞掲載

記事から知り得たこと

調べてわかったこと、考えたこと（330字程度）

疑問に思ったこと、調べてみたいこと

アワビの活用は SDGs の姿でもありますね。南相馬の会社が、大船渡の養殖会社への復興協力にいたる背景を踏まえ、あなたが感じたことをまとめてみましょう

